

こたえ合わせ



第1問 答え：2番「夫婦」

解説：織姫と彦星は夫婦です。結婚後に仕事をさぼるようになったため、天帝（おりひめの父）に怒られ、天の川をはさんで引き離されたという伝説です。

第2問 答え：2番「乞巧奠（きっこうでん）」

解説：「乞巧奠」は「技巧を乞い願うお祭り」という意味で、織物の上手な織姫にあやかって、裁縫や手芸の上達を祈る行事として中国から伝わりました。

第3問 答え：2番「カラス（烏）」

解説：七夕伝説では、無数のカラスが翼を広げて天の川に橋をかけ（「烏鵲の橋」と呼ばれます）、2人を会わせてくれるとされています。

第4問 答え：2番「詩や和歌などの文字」

解説：もともと七夕では、織姫にあやかって「書や裁縫が上達しますように」と詩や和歌を書いていました。現在のように自由な願い事を書くようになったのは後の時代です。

第5問 答え：3番「裁縫・機織り」

解説：吹き流しは機織り（はたおり）の糸を表しており、織姫にちなんで裁縫や手芸の上達を願って飾るものです。七夕飾りのなかでも代表的な飾りのひとつです。

第6問 答え：2番「豊漁・豊作を願うため」

解説：網飾りは漁師の使う網を表しており、魚がたくさん獲れるよう、また農作物が豊かに実るよう願って飾ります。それぞれの飾りには異なる意味が込められています。

第7問 答え：2番「8月」

解説：仙台七夕まつりは旧暦に合わせて毎年8月6日～8日に開催されます。豪華な吹き流し飾りが商店街を彩り、全国から多くの観光客が訪れる東北を代表するお祭りです。

第8問 答え：2番「たくさんの星の集まり」

解説：天の川は、地球が属する銀河系（天の川銀河）を内側から見た姿で、無数の星が帯状に見えたものです。澄んだ夜空では今でも肉眼で観察できます。

第9問 答え：2番「ベガ」

解説：織姫星の正式名称はベガ（Vega）で、こと座の1等星です。一方、彦星（ひこぼし）はアルタイル（Altair）といい、わし座の1等星です。この2つの星とデネブを結んだものが「夏の大三角」です。

第10問 答え：2番「そうめん」

解説：七夕にそうめんを食べる習慣は平安時代から続いています。そうめんの細い形が織姫の糸を連想させること、また無病息災を願う食べ物として宮中行事に使われていたことが由来とされています。